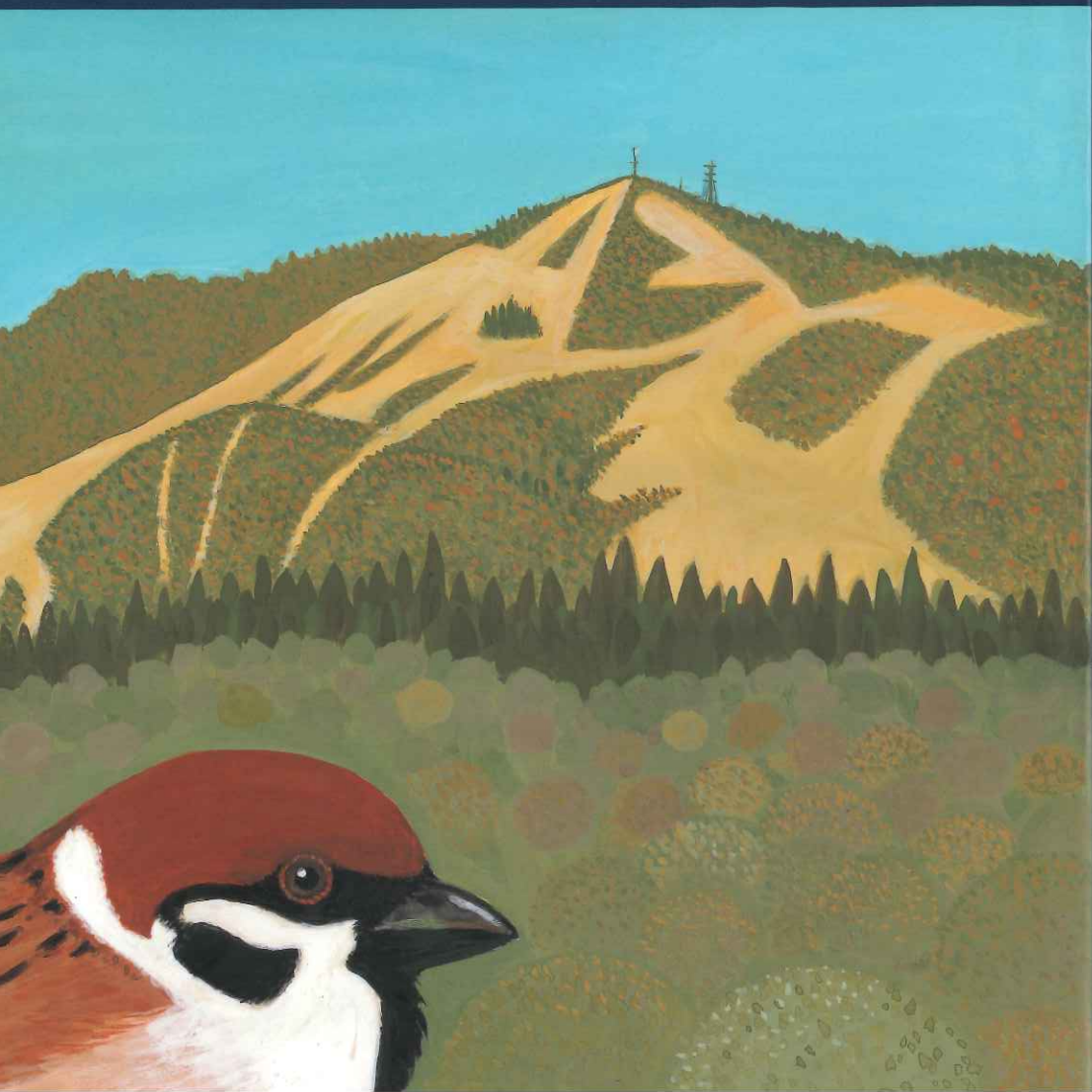


六日所史

通史編 第三卷 近・現代



目次

口絵

発刊のことば

はじめに

凡例

南魚沼市長

郷土史編さん委員長

林 茂男
今成卓而

近代編

第一章 近代のはじまり

第一節 維新戦争と六日町

1 維新の戦争と六日町の人々

三国峠の戦闘から小出島戦争へ

治安の維持と農兵の取立て

二重の負担

五日町の騒擾

3

第二節 新しい制度と六日町

1	行政組織の変遷と大区小区制下の六日町	8
	大区小区制の施行	
	戸長の役割	
2	新しい制度への対応	11
	地租改正の実施	
	地租改正と入会山	
	徴兵制	
3	学校教育のはじまり	15
	学制以前のこと	
	六日町校の誕生	
	六日町地域の小学校	
	低い就学率	
	学区取締の活動	
	学校経営の収支	
	六日町校の新築問題	
	南魚沼中学校	
4	三新法下の六日町	24
	町村制と戸長	
	町村の財政と支出	
	郡役所の設置	
5	六日町の自由民権運動	34
	県会の開始と国会開設運動のはじまり	
	六日町政談演説会の取り組み	
	地域政党結成の動きと六日町	
第三節 村の近代化		
1	神仏分離と山岳信仰	40
	変わる八海山信仰	
	神仏分離	
	格付けされる神社	
2	新しい文化と旧習	46

第四節 産業の発展

1	明治前半期の農業・養蚕業	54
	「物産書上」にみる農業生産の様子	
	養蚕の奨励	
	農業の景況	
2	農事改良と有志農談会の活動	57
	農談会の活動	
	養蚕奨励の取り組み	
3	地主・小作関係のはじまり	60
	土地集積のはじまり	
	小作料の実情	
4	清水越新道の開削と六日町	61
	清水越新道の開削	
	六日町における工事と対応	
	八箇峠の整備	
5	魚野川水運の発展	64
6	明治前半期の商業	66
3	流行病と病院の設置	52
	病院の設置	
	コレラの流行と対応	
	コレラへの対策	
	芝居の楽しみ	
	六日町周辺の芝居状況	
	今成無事平の写真術	
	今成無事平の芝居観	
	六日町地域の芝居役者	

第二章 町と村の近代化

目次

第一節 町村制下の六日町

1	町村制施行と旧村	69
	町村制施行への対応	旧村の上申と合併案の帰結
2	六日町地域の初期行財政	73
	学区と村財政	南城内村の行財政
		道路の敷設
		六日町病院
3	自治行政の模索	79
	六日町村政	県議会での活動
		自治行政への渴望
4	南魚沼郡の政治状況	85
	明正会の設立	国権回復同盟会と越南改進黨
		第一回・第二回総選挙
		第三回・第四回総選挙
	一八八〇年代後半以降の県会議員選挙	
第二節 諸産業の発展		
1	農会の設立と農事改良	92
	郡有志農談会の活動	各村の農談会
		町村農会の活動と農事試験場の役割
	当時の農作業の様子	病虫害防除の取り組み
2	養蚕業の展開	97

3	地主経営の展開	養蚕業の盛況	蚕糸組合の活動	99
---	---------	--------	---------	----

第三節 日清・日露戦争期の住民

1	日清戦争	日清戦争と六日町	「東北日報」に とつての日清戦争	103
2	日露戦争	日露戦争の勃発と郷土兵	追悼と顕彰 在郷軍人団と忠魂碑	107
3	僻地認識と文化的自立	鉄道延伸の影響	新聞のはじまり 「越南新報」の創刊 僻地認識 文化的自立への模索	112

第四節 災害と住民生活

1	火災	火災の頻発	一九〇八年の六日町大火 消防組の設置	119
2	洪水	一八九一年の大洪水	一八九六年の大洪水 一八九七年以降の大洪水 水害予防組合	122

緊急復旧工事の負担

目次

3	魚沼地震	127
	地震の多発	
	魚沼地震	
4	大雪	128
	雪踏み	
	雪害	
	利雪	
第五節 赤痢・郡会批判・郡政		
1	赤痢	131
	赤痢患者収容問題	
	隔離病舎建設問題	
2	「越南新報」の郡会批判	136
	「越南新報」の社論	
	郡長不信任案	
	巡查部長侮辱告発事件	
3	郡会と郡政	139
	郡会の刷新	
	郡会と郡政の運営	
第十六節 六日町の誕生		
1	南魚沼郡の町村合併問題	143
	郡会の合併論議	
	合併案をめぐる紛糾	
2	新六日町の誕生へ	146
	第二次処分案の提示	
	新六日町の誕生	

3 初期六日町政の展開

石川・山崎町政期 山口町政の発足 教育事業と町振興策 山口千代松の「自治論」

第七節 教育と文化の振興

1 学校教育の定着

町村制と学校 教育勅語 六日町小学校の子守教場 子どもをほって(背負って)学校へ

2 交錯する新旧の文化

一八九四年の坂戸の芝居 芝居盛況への県統制 八海山信仰と教派神道 神社の統合と地方改良
新暦の励行 若者組から青年会へ 地域に根付く俳諧 今成無事庵と正岡子規
今成木公と會津八朝郎(八一)

第三章 大正デモクラシー期の六日町

第一節 六日町政の変転

1 大正期の六日町と政党

一九一五年の総選挙 一九一五年の県会議員選挙 その後の動向

2 大正期の六日町政 182

大正期の山口町政 高橋・小倉・山本町政 目黒町政 六日町の財政

3 大正期の城内・大巻・五十沢村政

城内村の動向 大巻村の動向 五十沢村の動向

第二節 農業と養蚕業

1 第一次大戦後の農業 195

大戦後の好景気と労働力不足 農地の整備と収量の増加 施肥法の改善

2 農事改良の進展と農会 198

農会技術員の設置と副業奨励 収量の増加と好調な繭価

3 女工出稼ぎの実情 200

五十沢村の女工出稼ぎ 激しい女工争奪戦

第三節 村のくらしと林野統一事業

1 村のくらしと区有林 202

くらしのなかの山林 小栗山の割山慣行

2 区有林野をめぐる訴訟問題 205

欠之上村・君帰村等における訴訟問題 大巻村の訴訟問題

3 区有林野の統一問題 207

五十沢村の林野統一問題 六日町の林野統一問題

第四節 大正デモクラシー期の教育と文化

1 教育の充実に向けて 213

郡是にみる教育の方針 実業補習教育の普及 越南義塾の閉鎖 六日町中学校の開校

初代校長手塚義明 二人の佐藤先生 六日町実科高等女学校 新しい教育 校歌・校章・校旗

2 文化活動の興隆 222

読書会から図書館へ 郡誌の編さん 映画と六日町 青年会・青年団の活動 禁酒会 八海山登山

第五節 上越線の開業と諸産業

1 明治から大正初年の上越線敷設運動 229

上越線の胎動 明治末から大正初年の動向 中魚沼郡の離脱

2 上越線通過地をめぐる争い 232

政府・議会の動き 南魚沼郡の敷設運動 上越鉄道期成青年会の活動 上越線の開通

3 商工業の発展 238

商業の発展 諸産業 魚沼自動車株式会社 六日町への電話・電力供給 城内村・五十沢村の発電事業

4 金融機関の設立 245

目次

六日町銀行の設立 六日町銀行の人事と経営

第四章 恐慌と戦争下の六日町

第一節 昭和恐慌下の六日町

1 昭和初期の六日町政 251

目黒・中俣町長の二二年 恐慌による町財政の悪化 恐慌からの脱出を目指して

一九三六年の町会選挙と町会の変化 259

2 昭和初期の城内・大巻村政 259

城内村の状況 大巻村の状況

3 雪害と水害 266

大正・昭和期の降雪 一九三五年水害

4 スキーの普及 270

スキーのはじまり スキーの普及 六日町中学校とスキー 昭和戦前期のスキー

第二節 上越線の開業と諸産業

1 六日町の昭和恐慌 275

2	商工業の新たな動き	昭和恐慌の痛手 一九三四年凶作の被害 救農土木事業への取り組み 経済更生運動はじまる	282
	上越線の開通と六日町地域	産業発展への模索	
	総力戦体制下の商工業	理研輸出玩具株式会社六日町工場	

第三節 農民組合と小作争議

1	自治研究会の設立	昭和恐慌以前の農民組合 自治研究会の設立 金比羅事件	288
2	六日町農民組合の設立	全農の六日町進出 一九三四年凶作と農民運動 東泉田小作組合と西泉田小作組合の設立 六日町農民組合の設立 小作争議の激化	293

第四節 戦時体制下の六日町

1	日中戦争下の六日町政	日中戦争下の六日町政 今成拓三と今成農場 六日町政と維新会 六日町翼賛壮年団の結成	302
2	総動員体制と六日町	六日町翼賛壮年団の活動 今成幸一の町長就任 戦局の悪化と六日町 国民義勇隊の編成 敗戦	310

3 総動員下の農業

日中戦争の全面化と応召農家の増加

自作農創設の事業

統制経済の強化

女子労働力の動員

農兵隊への動員

319

第五節 一五年戦争期の教育と文化

1 戦争のなかの教育

戦争に覆われる学校

青年学校と青少年団

国民学校

学徒動労働員

329

2 多様な文化とメディア

新民謡の流行と「六日町小唄」

ラジオ放送と六日町

進む郷土研究

平賀洗一の記録映画

昭和戦前期の詩歌

「オモチャノマチ」

戦時下の盆踊り

翼賛文化運動

直江兼統・上杉景勝の顕彰

戦前の歌舞伎上演

323

現代編

第一章 戦後改革期の六日町

第一節 敗戦からたちあがる

1	敗戦直後の六日町	343
	それぞれの八月一日 復員と戦没 バー・モウの隠匿	
2	六日町地域の復興活動	351
	六日町の復興論議 一九四七年四月の選挙 高等女学校昇格問題 戦後初期の六日町財政	
	城内村行財政の推移 五十沢村行財政の推移 大巻村の行財政運営	
3	諸団体の蘇生	362
	労働団体の発足 農民組合の再編 女性団体の動向 地域青年団の再興	
4	生活環境の再建	371
	六日町地域の人口推移 諸産業の再建 六日町行財政の諸課題 陳情活動の活発化	
第二節 農地改革と食料増産		
1	食糧難と供出	380
	一九四五年の大凶作 強権的供出 六農事件	

2	農地改革	386
	第一次農地改革	
	第二次農地改革の推進	
	農地改革後	
3	西部開田事業	392
	発端	
	戦後の計画着手	
	南魚沼郡中央土地改良区の発足	
	開田工事の進捗	
	完工	
第三節 教育改革と文化の新局面		
1	学校教育の改革	396
	軍事色の払拭	
	食糧難との戦い	
	学校教育法と新学制	
	新教育への取り組みととまどい	
	六日町高等学校	
	定時制課程	
	子供銀行・こども郵便局	
	学校植林運動	
	教育委員会の誕生	
2	新しい文化と社会教育	406
	「魚沼新報」の復刊	
	六日町文化連盟と「お六甚句」	
	疎開文化人の活動	
	地域・職域における文化運動	
	公民館の開設	
	視聴覚教育	
	有線放送	
	宗教界の変化	
	文化財指定	
3	歌舞伎芝居の戦後	414
	歌舞伎芝居の復活	
	五十沢歌舞伎	

第二章 高度経済成長期の六日町

第一節 新六日町の誕生

- 1 曲折の町村合併論 417
議論百出 城内村の事情 大巻村の事情 六日町の事情
- 2 新六日町の誕生 420
新六日町の発足 町財政問題の推移 塩沢町等四町村との合併問題の帰趨 新町政の産業政策
天然ガス開発の継続 観光・農業・工業施策 革新町政 舞台は県議会へ

第二節 観光立町

- 1 温泉 429
二つの温泉街 農民温泉 新たな温泉井と湯量管理
- 2 スキー場 433
交通網の整備とスキー場開発 榊形山の開発
- 3 観光地の基盤整備 435
町おこしと西山開発の進展 魚沼スカイライン 越後三山の国定公園指定 温泉プール 八海山開発

第三節 交通・産業の刷新

1	国道一七号線の全通と道路網の拡充	442
	国道一七号線の全通	
	無雪道路の実現へ	
	国道二五三号線の開通	
2	鉄道網の誘致と町の発展	445
	上越西線建設促進運動	
	上越線複線化と庄ノ又駅	
	急行列車停車の運動	
3	関越自動車道と上越新幹線誘致運動	448
	関越自動車道インターチェンジ	
	幻の上越新幹線の六日町駅	
	町道整備計画	

第四節 災害と対策

1	自然災害の猛威	451
	台風	
	豪雪	
	豪雨と水害	
	集団移転	
2	魚野川と支流の河川改修	454
	魚野川の大改修	
	五十沢川の合流工事	

第五節 教育と文化

1	高校進学者急増への対応	456
---	-------------	-----

2	文化活動の展開	進学者の急増	女子高校の誘致と共学化	八海高等学校の誕生	青少年の育成
	南魚沼郡A Pクラブ	史跡保存			

第三章 高速交通期の六日町

第一節 高速交通体系の整備

1	上越新幹線と六日町	新幹線工事と水源枯渇	六日町の新幹線問題	463
2	関越自動車道の開通と六日町	関越自動車道の開通	関越自動車道全通と六日町	465
			新幹線通過問題の深刻化	
			新幹線通過問題からの脱却	
3	北越急行の開業と東部開田事業	北越急行の開業	魚野川東部開田事業	472
			水平畑問題	
			コシヒカリの誕生と普及	

第二節 集積する企業と商店街の変化

1	工場に進出	六日町への工場進出	出稼ぎ者問題	商店街の変化	478
---	-------	-----------	--------	--------	-----

2	人口増加と土地開発公社の設立	482
	人口の増加	
	用途地域の指定	
	土地開発公社の設立	
	土地開発条例の制定	
第三節 水害対策と公害対策		

1	水害対策	484
	平手川の流路変更	
	三国川ダム	
	魚野川改修	
2	東邦亜鉛の開業とカドミウム問題	487
	中手原の開拓	
	亜鉛鉱の開発	
	東邦亜鉛の開業	
	カドミウム問題の発生	
	公害問題への対応	
	カドミウム問題の収束	

第四節 区制と町政

1	欠之上区	494
	児童数の急増	
	欠之上小学校問題	
2	西泉田区	495
	水害防止対策	
	魚野川堤防問題	
3	小栗山区	499
	西部開田問題	
	観光開発	
	割山問題	
4	五日町区	503

第四章 ホワイトピア六日町

第一節 克雪

1	続く豪雪	507
	一九八一年の豪雪	
	一九八四年の豪雪	
2	地盤沈下問題	509
	消雪パイプと井戸	地盤沈下のメカニズム
	道路消雪パイプ集中管理システム	地下水の採取制限
		地盤沈下全国一位
		流雪溝の設置
3	克雪へ	513
	克雪シンポジウム	克雪への多様な取り組み
		利雪の取り組み
第二節 文化の六日町		
1	芸術の町	516
	トミオカホワイト美術館等	文化会館
		史跡の町
		F Mゆきぐにの開局
2	スポーツの町	520

第三節 産業構造の変化

1	転機の開発と産業	525
2	大型店の進出	530
1	六日町駅裏の開発と新興住宅	525
2	大型店進出ラッシュ	530
1	新興住宅の立地	525
2	ジャスコの開店	530
3	ララの開店	534

第四節 新時代の六日町へ

1	変動の時代	534
2	花開く地域文化活動	539
3	新六日町の建設へ	545
1	農業人口の激減	534
2	文化活動を振り返る	539
3	新六日町の建設へ	545
1	第二次産業人口の成長と出稼ぎ問題	534
2	第三次産業人口の台頭	539
3	俳句・詩・短歌・謡	539
4	美術界	545
5	スポーツ界	545
6	老人クラブ	545
1	六日町総合計画の端緒と産業と観光の町	545
2	総合計画の改定と工場誘致	545
3	総合計画の再改定と生活向上の光と影	545
4	南魚沼市建設計画	545

主な参考・引用文献	556
執筆者一覧	568
郷土史編さん関係者名簿	570
資料所蔵者・協力者一覧	575
あとがき	
掲載写真の出典一覧	